

標 題 : Metabolic syndrome, Mediterranean diet, and polyphenols:
Evidence and perspectives.

メタボリックシンドローム、地中海食事およびポリフェノール：
証拠および全体像

著 者 : M. Finicelli, et al. (イタリア ナポリ CNR
農業-環境生物学・林学研究所 (IBAF))

掲 載 誌 : J. Cell Physiol. 2018 Oct 14. [Epub ahead of print : 発行に先立つ電子出版]
[冊子版は J. Cell Physiol. 2019 May; 234(5):5807-5826.]

要 旨 :

メタボリックシンドロームは代謝性危険因子の同時発生と定義され、それはインスリン抵抗性、高インスリン血症、耐糖能異常、2型糖尿病、脂質異常症、および内臓型肥満を引き起こす。

メタボリックシンドロームの臨床的重要性は、慢性疾患に罹りやすい共通の生理病理学的状態を共有する患者のサブグループを確認することで構成される。

メタボリックシンドローム発生のリスクを説明できる複数の問題点を減らすのを目的とする有効な戦略として、生活様式改善を臨床研究および科学的研究が正確に示す。

健康的な食事パターンの中で、地中海食事が長寿と関連する有効性の観点から浮かび上がる。

メタボリックシンドロームの各種要素に対して地中海食事が発揮する予防効果を、最新の証拠が強調する。

興味深いことに、代表的な地中海食事の要素 (すなわち、オリーブ油、赤ワイン、およびナッツ) の中に含まれるポリフェノールによって発揮される作用が、この食事パターンと関連する有益な特性を説明できると思われる。

この総説で、メタボリックシンドローム発生を説明できる生理病理的要素を防ぐかまたは遅らせることに関して、地中海食事のポリフェノールの有効性に関する主な証拠を要約することを、我々は目的とする。

これらの研究結果は、地中海食事のポリフェノールの健康的特性に関する有益な見識、およびメタボリックシンドロームに合わせた方法に向かう新しい目標を提供すると思われる。

キーワード : 地中海食事、メタボリックシンドローム、オリーブ油、ポリフェノール、レスベラトロール
